

地域再生計画(汚水処理施設交付金)事後評価調書

都道府県名	神奈川県	事業実施主体	相模原市	地域再生計画名	相模原市「水源地域再生計画」
計画期間	平成18年度～平成22年度	事業期間	平成18年度～平成22年度		

地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		計画目標量		事後評価	進捗状況に関する評価	
	指標	内容	基準年度	計画年度	実績	年度		実績	
指標1	計画区域の汚水処理人口普及率を46.4%から57.8%に引き上げる	46.4%	H16	57.8%	H22	58.2%		汚水処理施設整備交付金の活用により、公共下水道、浄化槽の効率的な整備が図られ、目標を達成した。	
指標2	計画区域の生活排水負荷量(BOD)を22%軽減する	100%	H16	78% (22%減)	H22	73% (27%減)		汚水処理施設の整備により、計画区域の生活排水汚濁負荷量(BOD)を22%軽減する目標を達成した。	
指標3	交流人口(年間入込み客数)を過年平均(平成12年から16年)の2,119千人から2,225千人(5%増)に増加させる	2,119千人	H12-H16 平均	2,225千人 (5%増)	H22	3,429千人 (62%増)		当該地区への年間来訪者は、約212万人から約343万人(H22)となり、水源地域の交流人口が増加となった。	
地域再生計画に記載した数値目標値以外の波及効果の実現状況	指標1								

事業の進捗状況	事業名	整備量(その他事業では取組内容)		事業の進捗状況に関する評価
		計画	実績	
特別措置を適用して行う事業	公共下水道	L = 18,875m(交付対象分のみ) L = 13,190m(単独事業分のみ) L = 32,065m(合計)	L = 19,077m(交付対象分のみ) L = 13,293m(単独事業分のみ) L = 32,370m(合計)	処理人口普及率の向上に寄与したともに、目標を上回る公共下水道整備を図ることができた。今後は下水道の事業計画の未整備部分を整備していきたい。
	浄化槽(個人設置型)	511基	138基	処理人口普及率の向上に寄与したが、個人申請によるため対象者へ設置促進を図ったが、実績は計画を下回る結果となった。なお、さらなる普及促進を図るため平成21年7月から市設置型浄化槽整備に切り替えた。
	浄化槽(市設置型)	370基	178基	処理人口普及率の向上に寄与したが、平成21年7月からは浄化槽整備を個人設置型から市設置型へ切り替え、対象者にその周知や合意形成を図ったが、実績は計画を下回る結果となった。今後はさらに市設置型浄化槽の普及を図り整備を進めていきたい。
その他の事業	森林保全事業	保安林の保全、市民参加による枝打ち・下草刈り等の山林保育管理、自然歩道の管理		私有林市や有林について、間伐、枝打等の整備を進め、保安林として保全を図るとともに、自然歩道の管理・整備を行った。今後も継続的に実施していきたい。
	野生動物保護事業	アユ・ワカサギなど稚魚の放流		中道志川トラスト協会事業等において、水源地域を流れる道志川でアユの稚魚の放流を実施した。今後も継続的に実施していきたい。
	啓発事業	交流イベントの実施や環境学習の実施		地区のイベントを開催時に、ブースを出展し、公共下水道や市設置型浄化槽のPR・説明を行うことで、水質保全の重要性や水資源再生に対する市民意識の向上を図った。今後も継続的に実施していきたい。
計画外で独自に実施した事業				
計画全体の総合評価	本地域再生計画では汚水処理施設整備交付金を活用し、浄化槽においては、個人の申請によるため、事業の進捗に遅れはあったものの、公共下水道においては汚水処理人口普及率の目標を達成し、生活排水汚濁負荷量(BOD)についても目標を達成した。また、水源地域への交流人口も目標値を上回ったため、事業実施の効果はあったものと考えている。			